

施工要領書

オンザウォール プレーン/ファイバー/ナチュレ



株式会社オンザウォール

〒420-0949
静岡県静岡市葵区与一3丁目2-7
TEL 054-653-3170
FAX 054-653-3171

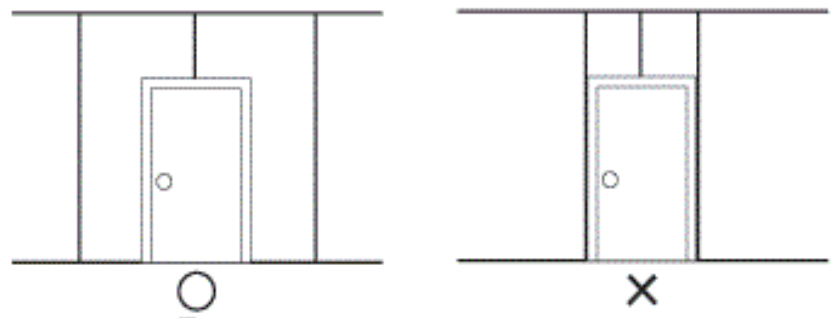
2014/3 改訂

1. 適合下地について

オンザウォールは、石膏ボード下地に直接塗れるように開発された製品です。合板、ベニヤ、構造用下地材、プラスチック等他の下地材への直接の施工は不適です。マニュアルをよく読んで施工してください。

2. 石膏ボードの張り方（JASS15左官工事2.9に準拠する）

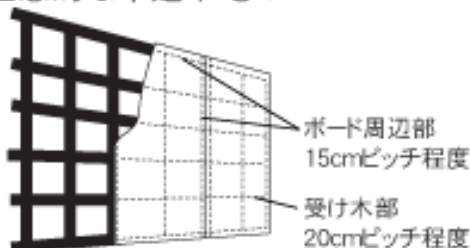
- 1) 石膏ボードはすき間の無いように貼り込んで下さい。
- 2) 石膏ボードは3尺×8尺あるいは3尺×9尺サイズをお使い10㊦～15㊦ピッチでビス止めをしてください。横の目地が少なくなるので、クラック防止になります。
- 3) ドア、窓枠の縦枠に沿って、ボードのジョイント部分が来ない様にして下さい。開け閉めの衝撃でクラックが入りやすくなります。



ジョイント部がドア枠や窓枠の延長線上に来ないように

- 4) 石膏ボードのジョイントは必ず木下地の場所でビス止めしてください。
*PBのジョイントを木工用ボンドで貼るとより強化な下地となります

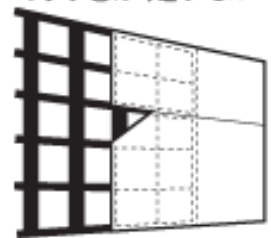
理想的な木造下地▼



横受木が無い場合▼



ボードの天地が足りない場合▼



3. 石膏ボード下地処理（基本的に塗装下地を作る）

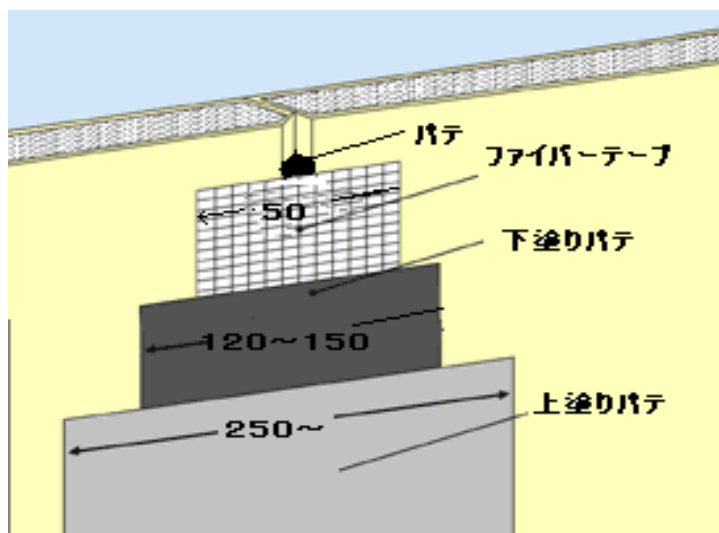
※オンザウォールオリジナルパテをご使用ください。

“湿式材料が塗布されてもパテが軟化しない強固な接着力”

“乾きが早く次の工程への時間短縮につながる”

硬く感じる場合は2%程加水すると塗りやすくなります。

- 1) プラスターボードは平ボードをご使用下さい。工程が簡略化できます。
（Vカットの場合はジョイント部分をパテで埋めし乾燥させます。）
- 2) ジョイント部分を35ミリのファイバーテープで補強します。
出隅、入隅はファイバーテープを貼りパテ処理をして下さい。
- 3) ファイバーテープをパテで覆い隠すよう、幅120～150ミリでしごき塗りをし、十分乾燥させます。
ビス頭もパテ処理。この時パテが厚くならない様にご注意ください。
- 4) 乾燥後、幅250ミリ程度仕上げパテ処理をし、十分乾燥させます。
パテ処理でやせた部分やテープの透けのない状態にしてください。



- 5) 1回目パテの乾燥待ちの時間にマスキングテープを、窓枠、ドア枠、廻り縁等に1～2ミリ程すき間を作りながら貼ります。巾木には床の養生を兼ねてビニール付養生テープを貼ります。（すき間は塗り厚によって調整して下さい。）

注意（乾燥後剥離の原因となりますので処理して下さい。）

- ・出隅にプラスチックのコーナー材を使用した場合はその上に接着増強剤（シーラーなど）を塗布してください。
- ・出隅でPBの切小口が出ている場合はファイバーテープを貼る前に、接着増強材（シーラーなど）を塗布し粉っぽさを抑えてからにメッシュテープやパテ処理をしてください。

4. コンパネ合板等の下地処理

- 1) 石膏ボード同様にジョイント処理をします。
- 2) 灰汁（アク）止めシーラーを塗布します。（各メーカーの施工書用確認）
*ハイポリックシーラーがお奨めです。
- 3) 2) または灰汁止めパテにて全パテ処理
*四国化成スーパーカーボンプラスター（灰汁止めパテ）がお奨めです。

2) 3) を併用するとより安心です。

5. コンクリート・モルタル下地処理

- 1) 下地の不陸調整、コンクリート用シーラーを塗布します。
- 2) 状況によっては全パテ処理をお願いします。

6. リフォーム工事（既存左官壁）の場合

- 1) 浸透性下地強化剤で古壁を固めて下さい。
- 2) ボロボロと崩れる古壁の場合は、剥がして不陸を調整して下さい。
- 3) 灰汁止めシーラーを塗布する。

*真壁の場合は、石膏ボードを上から貼った方が手間のかからない場合があります。施工前にご検討下さい。

7. リフォーム工事（既存ビニールクロス）の場合

既存のビニールクロスは剥がさずその上からオンザウォールを施工してください。ビニールクロスを剥がした後の裏紙が残ると浮きの原因となりますので、剥がす際は裏紙まできれいに取ってください。

A. クロスが比較的きれいな場合

- 1) クロスの汚れを取り除いて下さい。
- 2) クロスの繋ぎ目、除去部、下地が割れている箇所はファイバータープで補強しパテ処理（メッシュテープを消す処理）をして下さい。
- 3) パテが完全に乾いたらオンザウォールを塗ってください。
クロスの凹凸が大きい場合は、共材で下こすりをして不陸調整後、仕上げ材を塗ってください。

B. クロスの汚れや劣化が激しい場合

- 1) クロスの繋ぎ目、除去部、下地が割れている箇所はファイバータープで補強しパテ処理（メッシュテープを消す処理）をして下さい。
- 2) 灰汁止めシーラーを全面塗布します。（各メーカーの施工書用確認）
*ハイポリックシーラーがお奨めです。
- 3) パテが完全に乾いたらオンザウォールを塗ってください。
クロスの凹凸が大きい場合は、共材で下こすりをして不陸調整後、仕上げ材を塗ってください。

C. その他

*紙クロス、布クロスの場合は全てきれいに剥がすか、水分を吸い込まなくなるまでシーラーなどで固めて下さい。

*マンション等、コンクリートにクロスを直貼りしている場合は、施工後に剥がれや浮きが起きやすいので、なるべくクロスを剥がしてから施工して下さい。

8. オンザウォールの仕上げ施工

A. コテ塗り仕上げの場合

- * 季節気温を考慮し、材料に精製水を加え攪拌機で3分以上よく混ぜ合わせて下さい。（通常600cc～1000cc 程度）
- * カラーボトルをお使いの時は、精製水をボトルに入れて、中身をよく振り材料の缶に入れてください。この作業をボトルが透明になるまで繰り返してください。このとき入れる着色剤の量も加える水の量に含めて、適量な水量に調節してください。よく攪拌し、材料がソフトクリーム状になったら塗りつけです。
- * ステンレス製の仕上げコテ（0.3ミリ程）で施工して下さい。
- * 手板に必要量を取り塗り厚1ミリ～2ミリ程度で均一に塗りつけます。薄塗りを推奨しますが厚塗りにも対応出来ます。（2度塗り）
- * 1㎡～2㎡塗りつけ後、コテにてパターンを付けます。
 - ・ ウェーブまたはランダムパターンで1回仕上げを推奨します。
 - ・ フラット仕上げは柔らかか目にした材料を薄塗り後、半乾き状態でコテ跡を押し、2回目も薄塗りしてください。
 - ・ 刷毛引きは1回引くごとに刷毛に付いた材料を落として引いて下さい。
- * 仕上げ塗りが終わったら、乾燥前にマスキングテープを取ってください。マスキングテープを取った際、ちりが起きてしまった箇所は湿った鋏先や湿らせた細筆で押さえてください。

注意

ビニールクロス下地、コンパネ下地の場合、塗りつけた時、気泡が出ることがあります。気泡が出たときはすぐにステンレスコテを左右に動かし気泡をつぶす様にして下さい。2～3度繰り返すと気泡は消えます。その後、パターン付けをして下さい。

B. 吹き付け仕上げの場合

- * 鏝塗りより多めの水を加え攪拌してください（2ℓ～3ℓ）
- * スプレーガン、リシンガン 4.5 ℓ～5.5 ℓを使い2度吹きが標準です。
- * 1回目の吹き付けと2回目吹き付けの間隔を最低2時間以上おいて下さい。

C. ローラー仕上げの場合

- * 鏝塗りより多めの水を加えて攪拌してください（1.5ℓ～2ℓ）
- * ローラーが滑らず回転するようにゆっくり塗りつけてください。
- * 2回～3回施工が標準です。

9. 使用上の注意

- 目に入った場合、直ちに水で15分以上洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- この製品には、物理的及び化学的危険性はありません。
- 状況により保護マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
- 廃棄は容器も含めその地方の廃棄物処理に適した方法で行って下さい。
- 保存料を使用していない為、加水後は早めにご使用下さい。開封後は蓋をしっかりと閉めて空気が入らないようにして下さい。
- 発注ごとの使い切りを原則としストックはしないで下さい。
- Mボード(紙付ベニヤ)は塗装後、紙にシワが発生し、仕上げ面にも影響を与えますので使用しないでください。
- UPパテ(吉野石膏)、ジョイントセメント(ニッター)はアルカリ性との相性が悪く、剥離などの原因となりますので使用しないでください。
- 施工は摂氏5度以上の環境で行ってください。

10. 下地処理材 推奨品

下記の商品を下地処理材として推奨しています。

処理材	メーカー	商品名	サイズ・容量等
メッシュテープ	メーコー	ブリッジテープ	35/50 ℓ @0.12 ℓ
上下兼用パテ	オンザウォール	塗り壁専用パテ	10 ㊦ 50 m ² 2回塗り
灰汁止めシーラー	ハネダ化学	ハイポリックシーラー	4 ㊦ 40 m ² 2回塗り
灰汁止めパテ	四国化成	スーパーカーボンプラスター	灰汁止め兼用パテ

- パテは弊社指定の物をお使い下さい。
- 推奨品は弊社でも販売致しております。
- 使用方法は各メーカーの施工要領に従ってください。
- ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。